江北國書館产品少

<発行> 公益財団法人 江北図書館

令和元(2019)年10月15日 発行

〒529-0425 長浜市木之本町木之本1362 **②・fax:0749-82-4867** 第21号

ホームページ: kohokutoshokan.com/

開館時間 午前9:30~午後5:00(日曜日は午後2時まで)休館日 毎週月曜と第1·3日曜、祝日

評議員会・理事会 新体制スタート

去る6月、公益財団法人江北図書館の理事会及び評議員会の新体制がスタートいたしました。評議員会のメンバーは全員が一新され、理事会メンバーも、理事4名が新しく選任され、監事も1名が交代いたしました。人心一新、課題山積の図書館運営に取り組んでいきたいと思いますので、利用者の皆様はもちろん、多くの地域の皆様にご支援賜りますようお願いいたします。評議員会・理事会の構成は次の通りです。(敬称略 カッコ内は旧町名での出身)

評議員 田中純子(木之本)林 孝子(木之本)文室淑美(木之本)

植田淳平(木之本)野田 光(高月)山田善晴(高月)

西野貴子(高月) 畑野良子(余呉)司馬祐美(西浅井)

理 事 理事長 冨田光彦 (木之本) 副理事長 丹治健一 (余呉)

石倉憲治(木之本) 河下太勇(木之本) 城楽 直(余呉)

服部言行(木之本) 水谷清一郎(高月)

監事 田中光夫(西浅井) 横田誠一(木之本)

新理事・監事です。よろしくお願いします。



石倉理事



城楽理事



服部理事



水谷理事



横田監事

夏休み好評企画





昨年に引き続き、今年も7月23日 \sim 27日、8月6日 \sim 10日の10日間にわたり、マインドマップの手法を使った感想文教室を開催しました。

自分の考えを「言葉の地図」で整理する表現方法で、脳の思考を開放するといわれている「放射思考」に基づいて考案された、「マインドマップ」と呼ばれる、イラスト化した情報を基に感想文に取り組むというユニークな教室です。江北図書館では、元当館理事でもある二宮保氏を中心に、4

年前からこの方法による読書感想文教室を開き、子供たちにとっては悩みの種でもある夏休みの宿題の一つ、読書感想文を楽しく書こうという取り組みを進めてきました。

4回目を迎えて参加者も定着し、10日間で、複数回参加も含めた延べ人数は150名を超えています。主な参加者は、地元長浜市の小中学生が中心であることに変わりありませんが、今年の特徴は、遠方からの問い合わせもあり、彦根市・草津市などからの

参加が増えたこと、またこれまでにも 参加したことのある、リピーターが増 えたことです。

これからも子供たちの力に

本を読むことは嫌いではないけれど、 感想文を書くのは苦手という子どもた ちは大勢います。せっかく本が好きで も、感想文が本離れを助長しては本末 転倒。大人たちが、楽しく読書感想文 を書くためのお手伝いをすることで、



読書好きの子供たちを応援していきたいと考えています。

また来年も参加したいとの声を励みとして、これからも子供たちの読書推進活動に 少しでも寄与できるように取り組んでまいります。

玄関補修進む ツタの除去にも着手

昨年は、大雨や台風により、図書館でも、老朽化が進む建物への雨漏りやガラスなどの破損等の被害が出て、周辺の皆様にはご迷惑をおかけいたしました。またご近所の方には、応急処置にお手伝いもいただきました。改めてお礼とおわびを申し上げます。



↑足場の組まれた玄関

ツタが覆う建物西側→

年はまだ豪雨・台風などより、長浜市周辺に大きな被害がもたらされていません。しかしながら、図書館建物のへ本格修理はいまだできておらず、図書館ではこの際、今後の災害に備え、まず玄関部分を補修すべきと判断して取り組むことといたしました。来館の皆様方にはご迷惑をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、長年のうちにツタの伸びた建物西側についても、建物への影響を考慮し、ツタの除去を開始することとしました。利用者の皆様のご理解をお願いいたします。

災害の多かった昨年に比べ、幸いなことに、今



『江北図書館文庫』研究会地道な歩み

江北図書館では、現在滋賀大学経済学部で管理していただいている当館所蔵の伊香郡役所や伊香郡誌編纂当時の史資料等貴重な資料を活用して、地元の歴史や文化、産業などを検証研究し、地域活性化に貢献すべく、江北図書館文庫研究会を組織し活動を続けています。

去る9月7日にも彦根市で例会を開き、筒井正夫滋賀大学経済学部教授が、「琵琶湖 疏水整備にまつわる近江商人との関係」について、木全清博滋賀大学教育学部名誉教 授が「近代教育以前の寺子屋での授業料と地元産業との関係等」について、日ごろの 研究成果を報告しました。何れも、養蚕の観点から旧伊香郡の史資料を見直すための ヒントがあったように思います。研究会では今後も地道に活動を続けていきます。

図書館への寄附に感謝

これからもよろしくお願いいたします。

公益財団法人江北図書館は、日々全体の利益に貢献するよう取り組んでおりますが、 確たる収益事業を持たず、財政的には厳しい環境にあります。図書の購入や修繕など 様々な面での不足を補い、支えてくださっているのが皆様からのご篤志です。昨年度 も遠くは岐阜、京都をはじめ大阪、姫路など各地から寄附金をお寄せいただきました。

皆様からの浄財は有効に利用させていただき、利用者の皆様の利便に資するよう努めてまいります。

なお、本館への寄附については、税法上の優遇措置がございます。詳しくは江北図 書館のホームページをご覧ください。

平成30年度分(H30.4.1~H31.3.31) ご芳名

遠藤 稔 様 大橋 晄 様 奥村多栄子 様 教野 勇 様

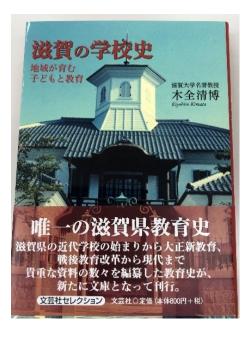
谷 和夫 様 谷口武男 様 冨田酒造(有) 様 中原吟子 様

永峰千年 様 西橋一夫 様 二宮 保 様 前田由美 様

三品 信 様 宮川 清 様 木之本ライオンズクラブ 様

(50音順)

~オススメ!この一冊~



江北図書館文庫研究会のメンバーでもある木全清博滋賀大学名誉教授が、『滋賀の学校史〜地域が育む子どもと教育』と題して、これまでの研究の中で収集した資料などを編纂し、滋賀県の近代教育の始まりから、大正・昭和を経て、現代にいたるまでの学校の姿の変遷を一冊にまとめ出版されました。

そこからは学校とともに、滋賀県独自の環境教育や 障がい者教育、郷土教育を育んだ、地域の力が見えて きます。ぜひ一度お読みください。

『滋賀の学校史 地域が育む子どもと教育』 木全 清博 著 文芸社発行 800円